

## Haematology II

1 unit (compulsory) 2nd-year

Mayumi Umeno · ASSOCIATE PROFESSOR / MORPHOLOGICAL LABORATORY SCIENCE, MAJOR IN LABORATORY SCIENCE, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, Masahiro Abe · ASSOCIATE PROFESSOR / MEDICINE AND BIOREGULATORY SCIENCES, COURSE OF MOLECULAR MEDICINE, SCHOOL OF MEDICINE

Kumiko Kagawa · ASSISTANT PROFESSOR / UNIVERSITY HOSPITAL

**Target)** 主として出血性疾患の理解 (安倍, 賀川) と, 診断に必要な検査の意義や方法と疾患との関係を理解させる (梅野).

**Outline)** 血液学の基礎, 各種血液疾患の病態や検査値, 血液学的及び止血学的検査法の原理や技術, 臨床的意義などについて教授する. (オムニバス方式) (安倍・賀川): 血小板形態および止血・凝固機構, 出血性あるいは血栓性疾患について教授する. (梅野): 血液学的検査, 出血・血栓傾向の検査, さらに染色体検査について教授する.

**Relational Lecture)** “**Haematology I**”(0.5)

**Goal)** 血液の生理と病態, 各種血液疾患の病態や検査値, 血液学および止血学的検査法の原理や技術, 臨床的意義などについて理解する.

**Schedule)**

1. 巨核球・血小板の形態, 生産, 機能 (安倍)
2. 止血機構, 凝固・線溶系のしくみ (安倍)
3. 血小板および凝固・線溶因子の異常による疾患 (賀川)
4. 血管の異常および血栓性素因による疾患 (賀川)
5. 検体の採取と保存 (梅野)
6. 血球に関する検査① (梅野)
7. 血球に関する検査② (梅野)
8. 形態に関する検査① (梅野)
9. 形態に関する検査② (梅野)
10. 血小板に関する検査 (梅野)
11. 凝固・線溶系の検査 (梅野)
12. 凝固・線溶阻止因子の検査, 凝固・線溶系の分子マーカー (梅野)
13. 染色体の基礎 (梅野)
14. 染色体の検査法 (梅野)
15. 染色体異常 (梅野)
16. 試験

**Evaluation Criteria)** 安倍・賀川: 筆記試験で評価する. 100点満点の60点以上を合格とする. 梅野: 毎日の小テストと定期試験の成績を合わせて評価し, 100点満点の60点以上を合格とする. なお, 各教員の試験で合格することが必要である.

**Textbook)**

- ◇ 臨床検査学講座「血液検査学」: 奈良信雄 他著 (医歯薬出版)
- ◇ 血液細胞アトラス: 三輪史朗・渡辺陽之輔著 (文光堂)

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217775>

**Contact)**

⇒ Umeno (+81-88-633-9067, [umeno@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:umeno@medsci.tokushima-u.ac.jp)) [MAIL](#)